

【資料－2】土木工事 完工図作成要領（処理場・抽水所編）

完工図作成要領（処理場・抽水所編）

（目的）

本要領は、下水道事業における処理場・抽水所施設の土木工事の完成に際して、完工図を作成するために必要な事項を定める。

（作成要領）

1 完工図

1-1 図面の記載項目

- (1) 図面の原図は、日本標準規格紙（A列）の規格寸法（以下「A3、A4」などという）で作成する。
- (2) 図面の原図には、図面管理番号（「1-3 図面管理番号」参照）を付けること。
- (3) 図面の原図には、表紙及び図面リストを付けること。

① 表紙

工事名称、標題「完工図」、監督担当及び設計担当名を記載する。

② 図面リスト

図面リストには、図面管理番号及び図面名称を記載する。（図 2-1）参照

目 次

分冊番号	図面管理番号		図面名称	備考
	起工番号	図面番号		
1/○	233 1628	0001	表紙	
		0002	図面リスト	
		0003	一般平面図	
		0004	○○○	
		0005	○○○	
		.	.	

（図 2-1）図面リスト

1-2 標題の記載項目

完工図の標題について、下記の記載項目に従い記述すること（図 2-2）参照

① 施工年度

和暦年度及び（ ）内に西暦年度を記載する。

② 起工番号

完成年度の番号を記載する。

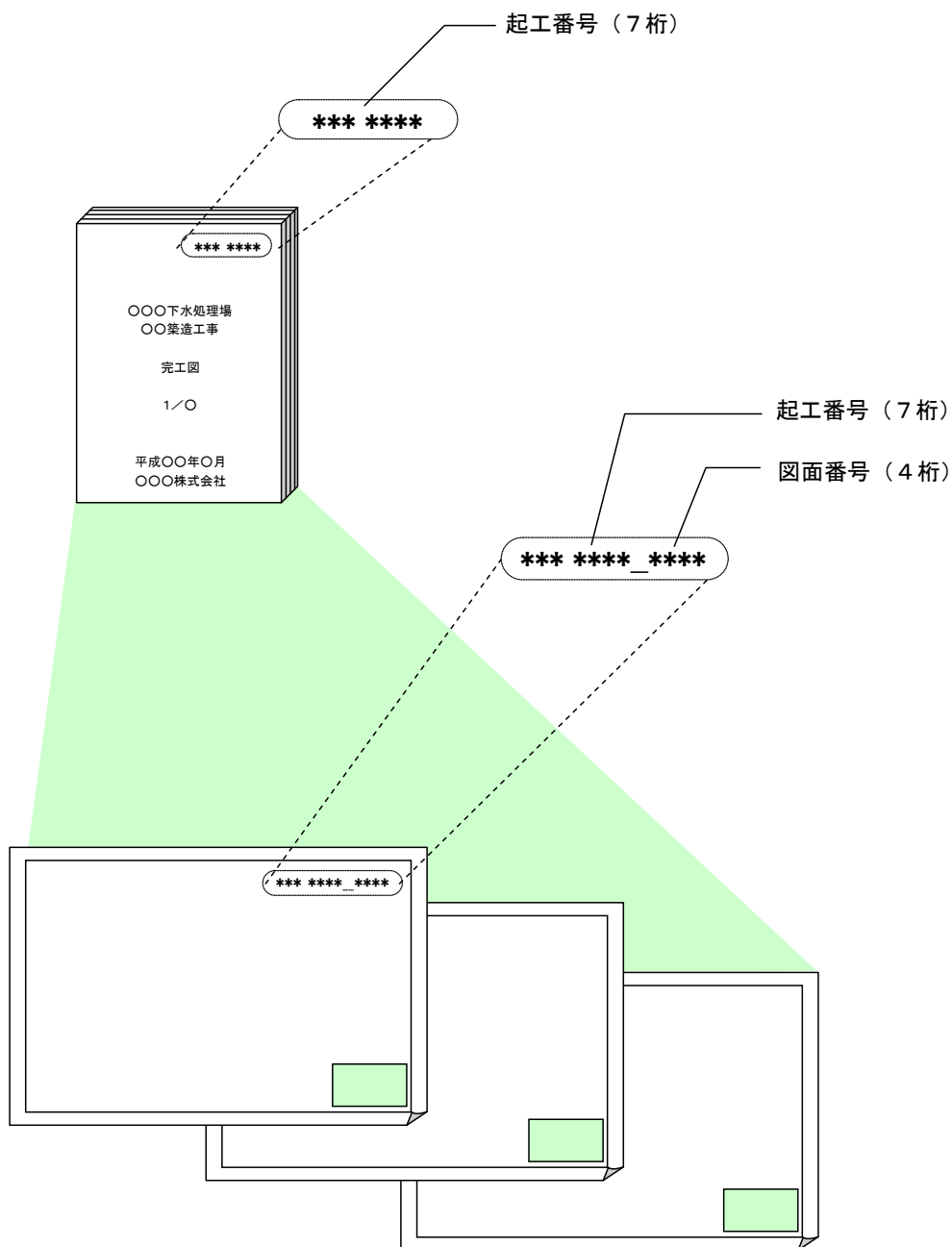
- ③ 図番
ページ番号を記載する。[記載例：1/30、2/30]
- ④ 工事名称
工事設計書の名称を記載する。
- ⑤ 工事場所
〇区〇〇町〇〇丁目を記載する。
- ⑥ 図面名称
図面の名称を記載する。
- ⑦ 工期
着工年月日及び完成年月日を記載する。
- ⑧ 費目
工事設計書に基づく費目名を記載する。
- ⑨ 受注者名
受注者名を記載する。
- ⑩ 水準基標
当該工事に用いた基準点の番号、場所、年号、年度、高さ（OP）を記載する。
- ⑪ 所管事務所名

		図 番			
施工年度	平成 年度()	起工番号			
工事名称					
工事場所					
図面名称					
工 期					
費 目		受注者名			
水準No. 水準位置		標高 OP 測定年度			
大阪市建設局		方面建設事務所		担当 係長	担当者

(図 2-2) 完工図標題

1-3 図面管理番号

- (1) 図面（表紙及び図面リストを含む）には、一枚単位に図面管理番号を付けること。
（図 2-3）参照
- (2) 図面管理番号は、7桁の起工番号（完成年度）及び4桁の図面番号（0001～9999の通し番号）とする。



（図 2-3） 図面管理番号

2 完工図（製本）（以下、「製本」という）

2-1 出力図

- (1) 電子納品媒体に格納された図面の出力図で、原図がA4以下の図面はA4で、A3以上の図面はA3で出力する。

2-2 製本の寸法など

- (1) 製本の仕上げ寸法は、A4とする。
- (2) 製本の1冊の厚さは8cm以内とし、超える場合は分冊とする。

2-3 製本の管理番号

- (1) 製本には、管理番号を付けること。
- (2) 管理番号は、7桁の起工番号（完成年度）とする。

2-4 製本の表紙及び背表紙

- (1) 製本の表紙及び背表紙は、黒色ビニル製とする。
- (2) 製本の表紙及び背表紙の記載項目は、次のとおりとする。
 - ① 管理番号
7桁の起工番号（完成年度）を記載する。
 - ② 発注者名
「大阪市建設局」と記載する。
 - ③ 工事名称
工事名称を記載する。
 - ④ 図書名称
「完工図」と記載する。
 - ⑤ 分冊番号
分冊番号を記載する。（一冊の場合は除く）
[記載例：1/2、2/2]

⑥ 完成年月

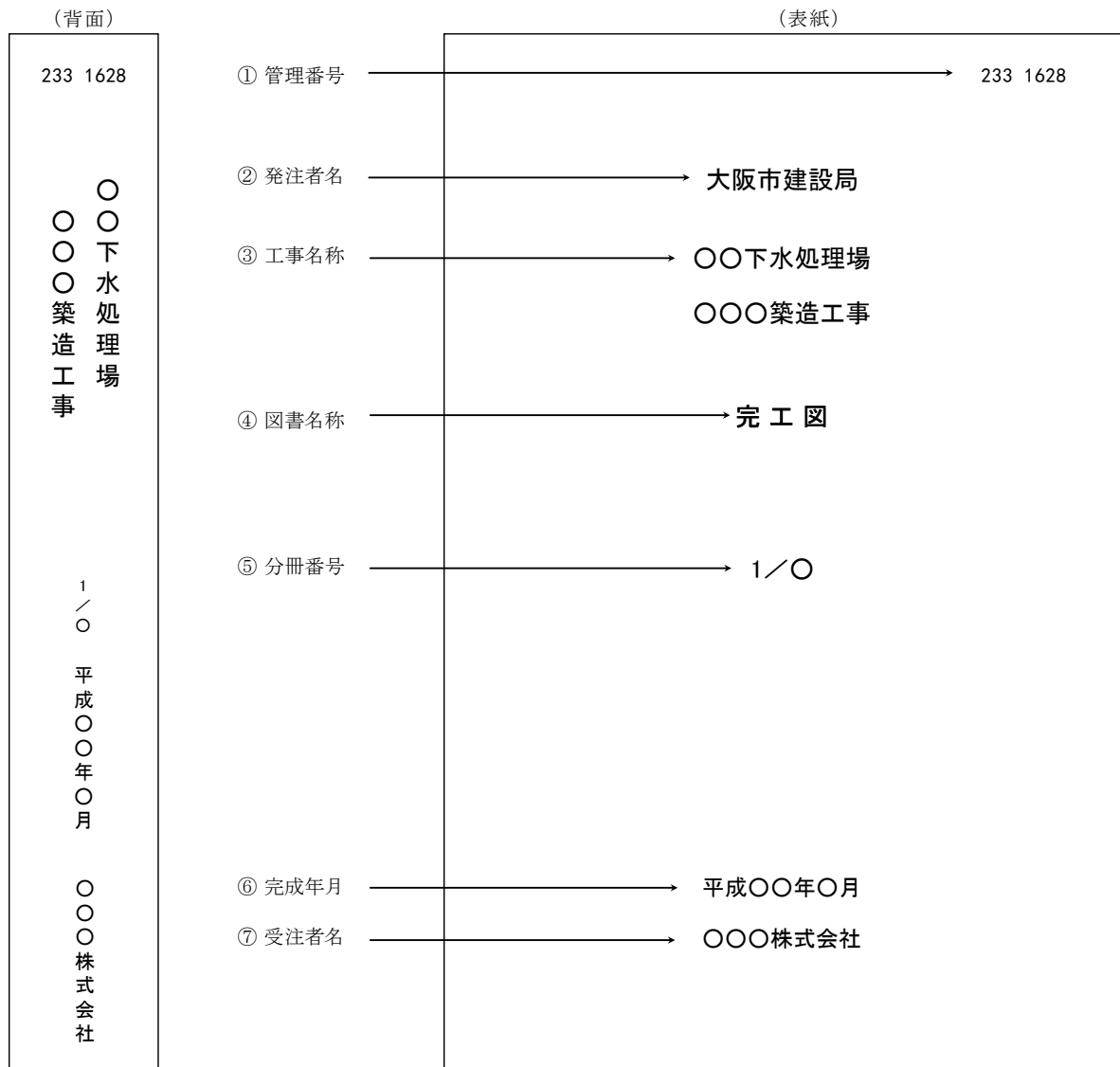
完成年月を記載する。

[記載例：平成〇〇年〇月]

⑦ 受注者名

受注者名を記載する。

(3) 製本の詳細については、(図 2-4) 製本の記載項目を参考にする。



(図 2-4) 製本の記載項目

3 完工図などの提出部数

完工図などの提出部数は、次表（表 2-1）のとおりとする。

（表 2-1）完工図などの提出部数

提出資料	部数	備考
電子納品媒体（CD-R など）	2 部	完工図の電子データ
完工図（製本）	2 部	電子データの出力製本

【資料－3】機械・電気・建築機械・建築電気工事 完成図書作成要領

完成図書作成要領（機械・電気、建築機械・建築電気）

（目的）

本要領は、下水道事業における処理場・抽水所施設の機械・電気設備工事などの完成に際して、完成図書を作成するために必要な事項を定める。

（作成要領）

1 完成図書

1-1 図面及び図書

- (1) 図面及び図書（計算書、試験成績書、取扱説明書など）の原図は、日本標準規格紙（A列）の規格寸法（以下「A3、A4」などという）で作成する。
- (2) 図面及び図書の原図には、図面及び図書の管理番号（「1-4 図面及び図書の管理番号」参照）を付けること。

1-2 完成図書の寸法など

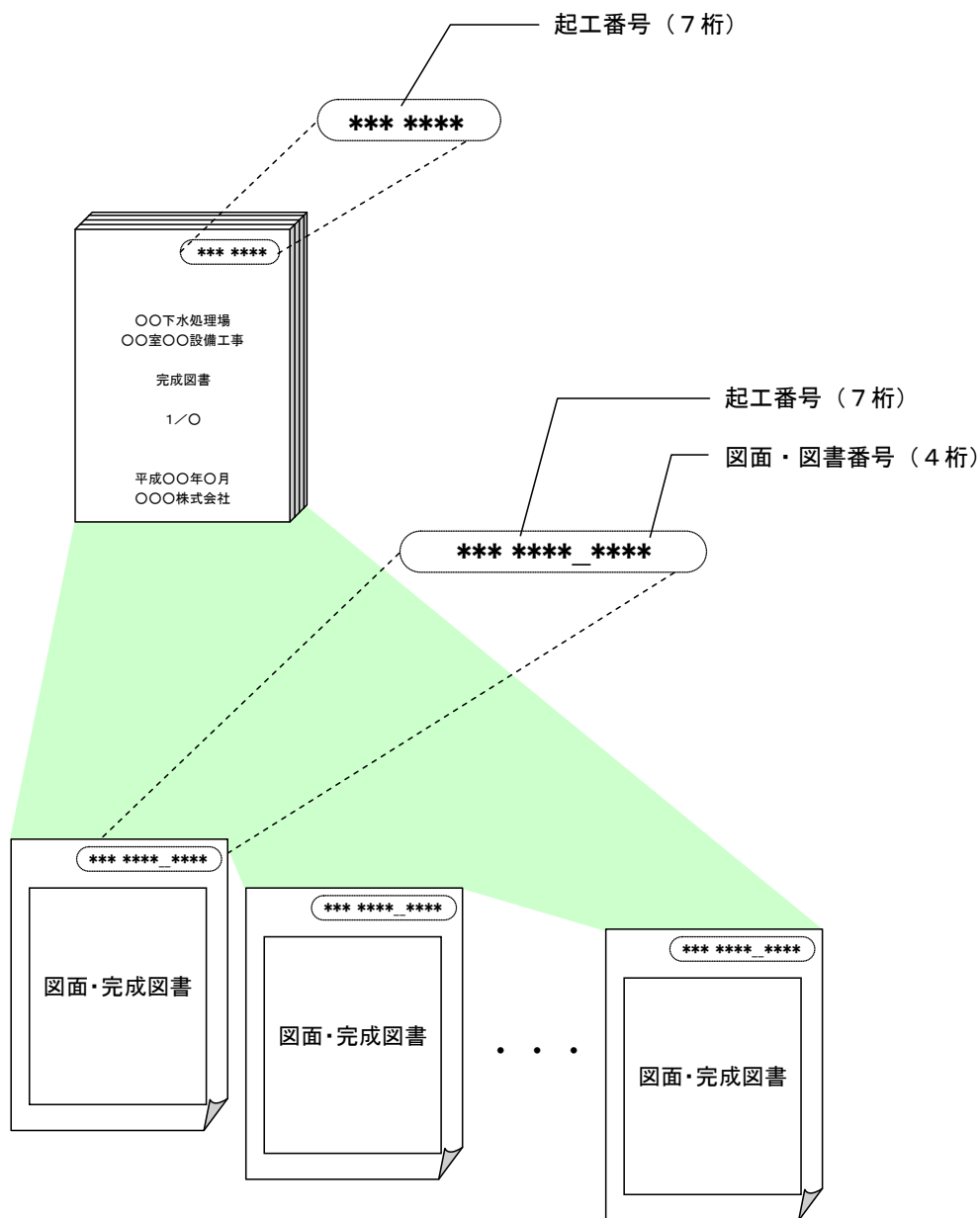
- (1) 完成図書の仕上げ寸法は、A4とする。
- (2) 完成図書は、図面及び図書の原図を乾式電子複写により作成する。
- (3) 完成図書の1冊の厚さは8cm以内とし、超える場合は分冊とする。

1-3 完成図書の管理番号

- (1) 完成図書には、図書管理番号として7桁の起工番号（完成年度）を付けること。
（図3-1）参照

1-4 図面及び図書の管理番号

- (1) 図面及び図書（内表紙及び目次を含む）には、一枚単位に図面及び図書の管理番号を付けること。（図3-1）参照
- (2) 図面及び図書の管理番号は、7桁の起工番号（完成年度）と4桁の図面・図書番号（0001～9999の通し番号）とする。



(図 3-1) 図面・図書管理番号

1-5 完成図書の構成

(1) 完成図書に格納する図面・図書及び構成は、次のとおりとする。

① 内表紙

表紙と同じ内容を記載する。

② 目次

分冊にした場合、分冊各々に全目次を入れ、第1分冊、第2分冊などの綴り範囲を記載する。

目次には、図面及び図書の管理番号（「1-4 図面及び図書の管理番号」参照）を記入する。

詳細は、（図 3-2）「完成図書の目次」を参照すること。

目 次

分冊番号	図書管理番号		図面・図書名称	備考
	起工番号	図面・図書番号		
1/○	233 1628	0001	(内表紙)	
		0002	(目次1)	
		0003	(目次2)	
		0004	施工箇所図	
		0005	○○○平面図	
		0006	○○○縦断図	
		.	.	

(図 3-2) 完成図書の目次

③ 施工箇所図

下水処理場、抽水所などの一般平面図に施工箇所を記入したもの

④ フローシート、ブロックシーケンス、スケルトン（電気）

⑤ 据付平断面図（全体据付平面図、個々据付平断面図）

⑥ 主要機器図

主な機器より（設計書の明細書の順を原則とする）

ア. 諸 元：機能、仕様など

イ. 外形寸法図

ウ. 構造図

エ. 構成図

オ. 設計計算書

カ. 各部詳細図

キ. 保護装置：仕様、構造図、結線図

ク. 塗装：仕様（一括して記載する場合は別途とする）

ケ. その他

⑦ 補助機器類（⑥に同じ）

⑧ 配管図（機械）、据付配線図（電気）

ア. 全体図

イ. 詳細図：施工箇所の判明ができるものとし必要により区分する。

ウ. スケルトン：必要による（機械）

エ. 配管材料表、ケーブル布設表

オ. 塗装：仕様（一括して記載する場合は別途とする）

カ. その他

- ⑨ 点検架台、歩廊、階段、手すり、覆盖類
 - ア. 据付平断面図
 - イ. 製作図
- ⑩ 機器据付基礎図
 - ア. 位置図
 - イ. 形状、寸法
 - ウ. 配筋：鉄筋の種類、径、ピッチなど
- ⑪ 施工要領図
- ⑫ 使用品図
 - ア. 特殊機器、付属品、盤内機器、計装機器、建築設備機器など
- ⑬ 検査、試験成績書
 - ア. 工場検査試験成績書
 - イ. 現場検査試験成績書
 - ウ. 保護装置の設定値及び動作値の記録
- ⑭ 予備品リスト、付属品リスト、潤滑油リスト
 - 設計書に記載されている機器などの順序で一覧表にする。
- ⑮ 機器などの質量表
- ⑯ 取扱説明書
 - ア. 全体の取扱説明書
 - イ. 機器単体の取扱説明書

(2) 増設及び改良工事の場合は、本工事に関する既設設備を含めた図面を作成する。

1-6 完成図書の表紙及び背表紙

- (1) 完成図書の表紙及び背表紙は、黒色クロス（金文字箔押し）をボール紙に貼り付けたものとする。
- (2) 記載項目
 - ① 管理番号
 - 表紙及び背表紙に図書管理番号（「1-3 完成図書の管理番号」参照）を記入する。
 - ② 発注者名
 - 「大阪市建設局」と記入する。
 - ③ 施工場所
 - 下水処理場名・抽水所名などを記入する。
 - [記載例：〇〇下水処理場、〇〇抽水所]

- ④ 工事名称
工事名称を記入する。(ただし、施工場所は除く)
[記載例 : ○○室○○設備工事]
- ⑤ 図書名称
「完成図書」と記入する。
- ⑥ 分冊番号
分冊番号を記入する。(一冊の場合は除く)
[記載例 : 1/2、2/2]
- ⑦ 設備分類
機械・電気の合併工事で完成図書が一冊の場合で、受注者が機械の場合(機械・電気)と記入し、受注者が電気の場合(電気・機械)と記入する。
- ⑧ 完成年月
完成年月を記入する。(日は記入しない)
[記載例 : 平成○○年○月]
- ⑨ 受注者名
ア. 受注者名を記入する。
イ. 代理人契約の場合は、代理人名及び施工業者名を併記する。
- ⑩ 金ライン
表紙、背表紙、裏表紙の3面に記入する。
・ 電気単独工事の場合 : 上下 - 2本
・ 機械・電気合併工事、受注者が電気の場合 : 上 - 1本
・ 機械・電気合併工事、受注者が機械の場合 : 下 - 1本
・ 機械単独工事の場合 : なし
・ 機械・電気合併工事の場合で機械、電気が別冊となる場合は、単独工事と同様とする。

(3) 完成図書の詳細については、(図 3-3) 完成図書の記載項目を参照すること。

2 完成図書「電子データ編」

2-1 出力図(図面及び図書)

- (1) 電子媒体に格納された図面及び図書の出力図で、原図がA4以下の図面及び図書はA4で、A3以上の図面及び図書はA3で出力する。

2-2 完成図書「電子データ編」の寸法など

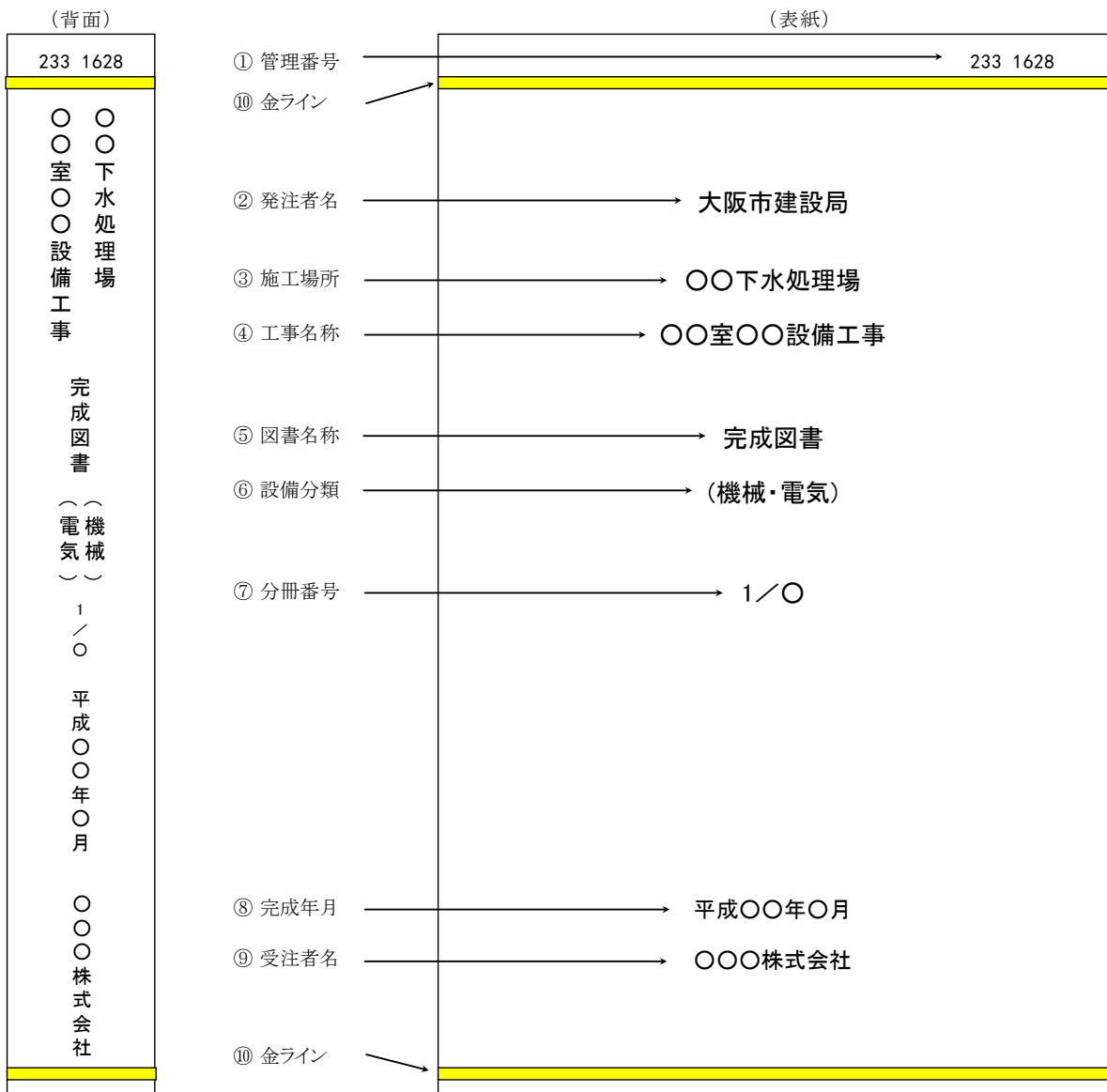
- (1) 完成図書「電子データ編」の仕上げ寸法は、A4とする。
- (2) 完成図書「電子データ編」の1冊の厚さは8cm以内とし、超える場合は分冊とする。

2-3 完成図書「電子データ編」の管理番号

- (1) 完成図書「電子データ編」には、管理番号を付けるものとする。
- (2) 管理番号は、完成図書と同じとする。(1-3 参照)

2-4 完成図書「電子データ編」の表紙及び背表紙

- (1) 完成図書「電子データ編」の表紙及び背表紙は、黒色ビニル製とする。
- (2) 完成図書「電子データ編」の表紙及び背表紙の記載項目は、完成図書と同様(1-6(2) 参照)とするが、図書名称は(完成図書「電子データ編」)とする。



(図 3-3) 完成図書の記載項目

3 完成図書などの提出部数

完成図書などの提出部数は、次表（表 3-1）のとおりとする。

(表 3-1) 完成図書などの提出部数

提出資料	部数	備考
電子納品媒体 (CD-R など)	2 部	完成図書の電子データ
完成図書 (製本)	2 部	
完成図書 (電子データ編)	2 部	電子データの出力製本

【資料－4】建築工事 完成図書作成要領

完成図書作成要領（建築）

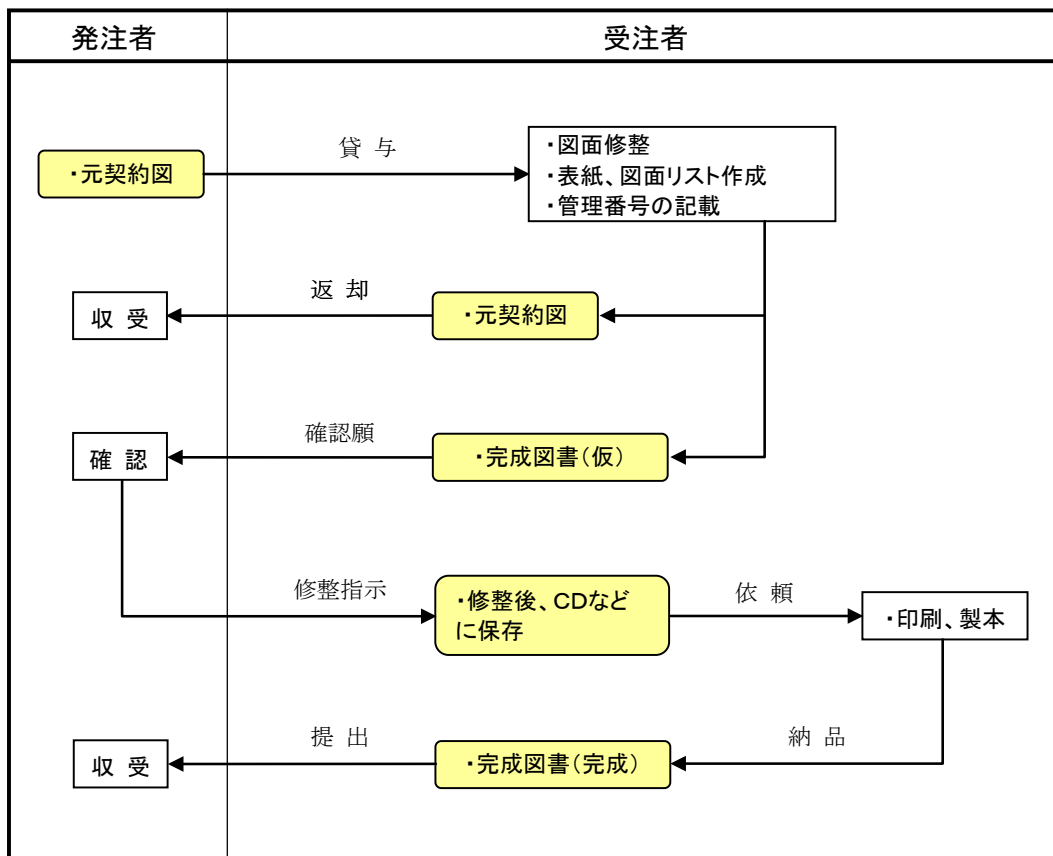
（目的）

本要領は、下水道事業における処理場・抽水所施設の建築工事の完成に際して、完成図書を作成するために必要な事項を定める。

（作成要領）

1 図面及び図書

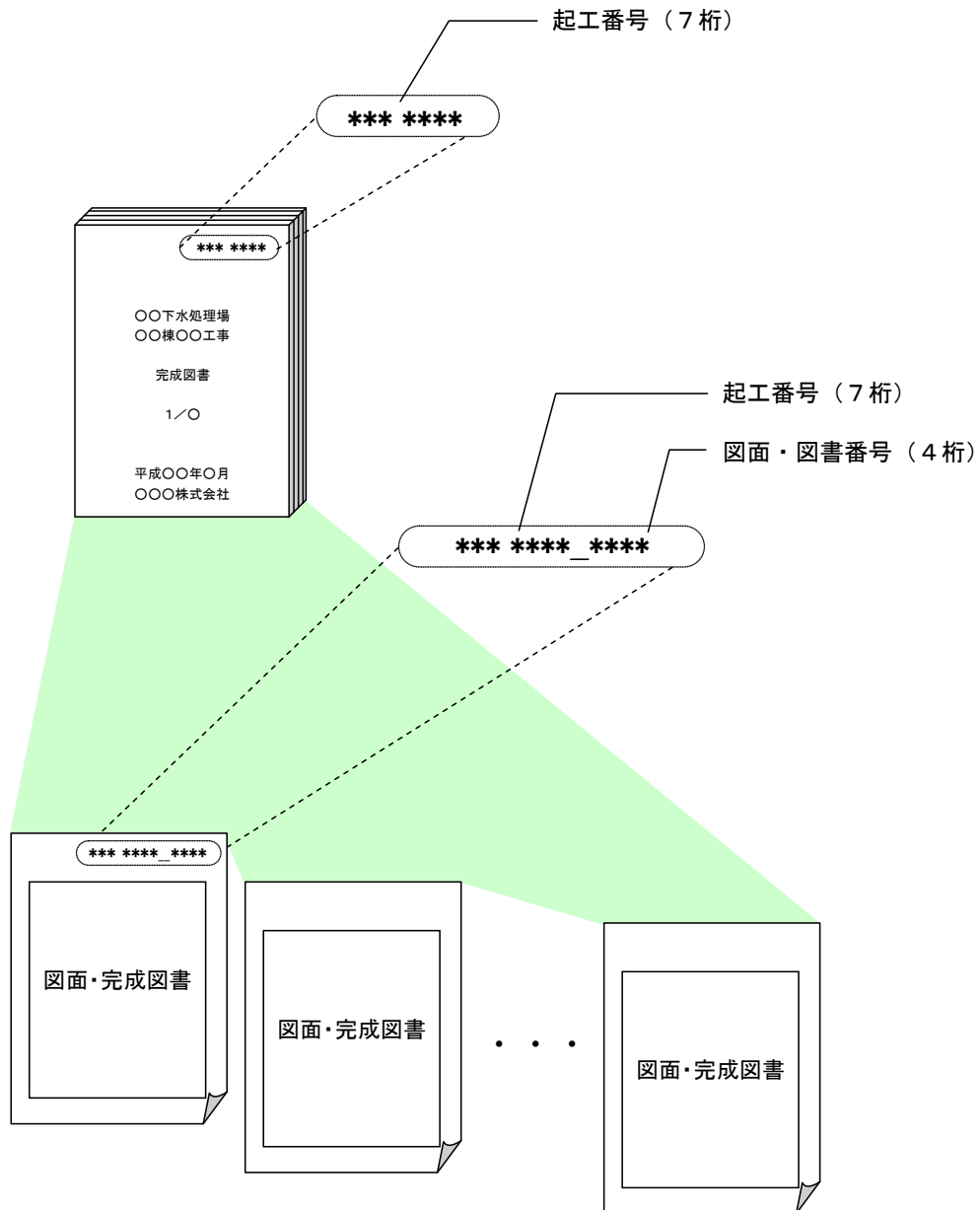
- (1) 図面及び図書（仕様書など）の原図は、日本標準規格紙（A列）の規格寸法（以下「A1、A4」などという）で作成する。
- (2) 図面及び図書の原図には、図面及び図書の管理番号（「2 図面及び図書の管理番号」参照）を付けること。
- (3) 図面及び図書の作成については、発注者と十分な協議を行い、次のフローに従い作成すること。（図4-1）参照



（図4-1）完成図書の作成フロー

2 図面及び図書の管理番号

- (1) 図面及び図書（表紙及び図書リスト含む）には、一枚単位に図面及び図書の管理番号を付けること。（図 4-2）参照
- (2) 図面及び図書の管理番号は、7桁の起工番号（完成年度）と4桁の図面・図書番号（0001～9999の通し番号）とする。



(図 4-2) 図面・図書管理番号

3 完成図書の構成

(1) 完成図書に格納する図面・図書及び構成は次のとおりとする。ただし、監督職員より特に指示がある場合は、これによる。

① 表紙

工事名称を記載する。

② 図書リスト

図書リストは、図面・図書番号（「2 図面及び図書の管理番号」参照）を記載する。

詳細は、(図 4-3)「図面及び図書リスト」を参照すること。

目 次

分冊番号	図面・図書管理番号		図面・図書名称	備考
	起工番号	図面・図書番号		
1/○	233 1628	0001	表紙	
		0002	図書リスト	
		0003	特記仕様書	
		0004	一般平面図(配置図)	
		0005	求積図	
		0006	内外仕上表	
		0007	○○○	
		.	.	

(図 4-3) 図面及び図書リスト

③ 特記仕様書 (A 1 サイズの特記仕様書)

④ 一般平面図 (配置図を含む)

⑤ 求積図

⑥ 内外仕上表

⑦ 各階平面図

⑧ 立面図

⑨ 断面図

⑩ 各階平面詳細図

⑪ 矩形詳細図

⑫ 展開図

⑬ 各詳細図

⑭ 建具表

⑮ 仮設工

- ⑯ 基礎伏図
- ⑰ 各階伏図
- ⑱ 各軸組図
- ⑲ 配筋図（柱・梁・小梁・スラブ・各部）
- ⑳ 架構配筋図

4 完成図書

4-1 図面及び図書

- (1) 電子納品媒体に格納された図面及び図書の出力図で、原図がA4以下の図面及び図書はA4で、A3以上の図面及び図書はA3で出力する。

4-2 完成図書の寸法など

- (1) 完成図書の仕上げ寸法は、A4とする。
- (2) 完成図書の1冊の厚さは8cm以内とし、超える場合は分冊とする。

4-3 完成図書の管理番号

- (1) 完成図書には、管理番号を付けること。
- (2) 管理番号は、7桁の起工番号（完成年度）とする。

4-4 完成図書の表紙及び背表紙

- (1) 完成図書の表紙及び背表紙は、黒色ビニル製（金文字押し）とする。
- (2) 完成図書の表紙及び背表紙の記載項目は、下記による。図書名称は（完成図書）とする。

- ① 管理番号

7桁の起工番号（完成年度）を記載する。

- ② 発注者名

「大阪市建設局」と記載する。

- ③ 施工場所

下水処理場名・抽水所名を記載する。

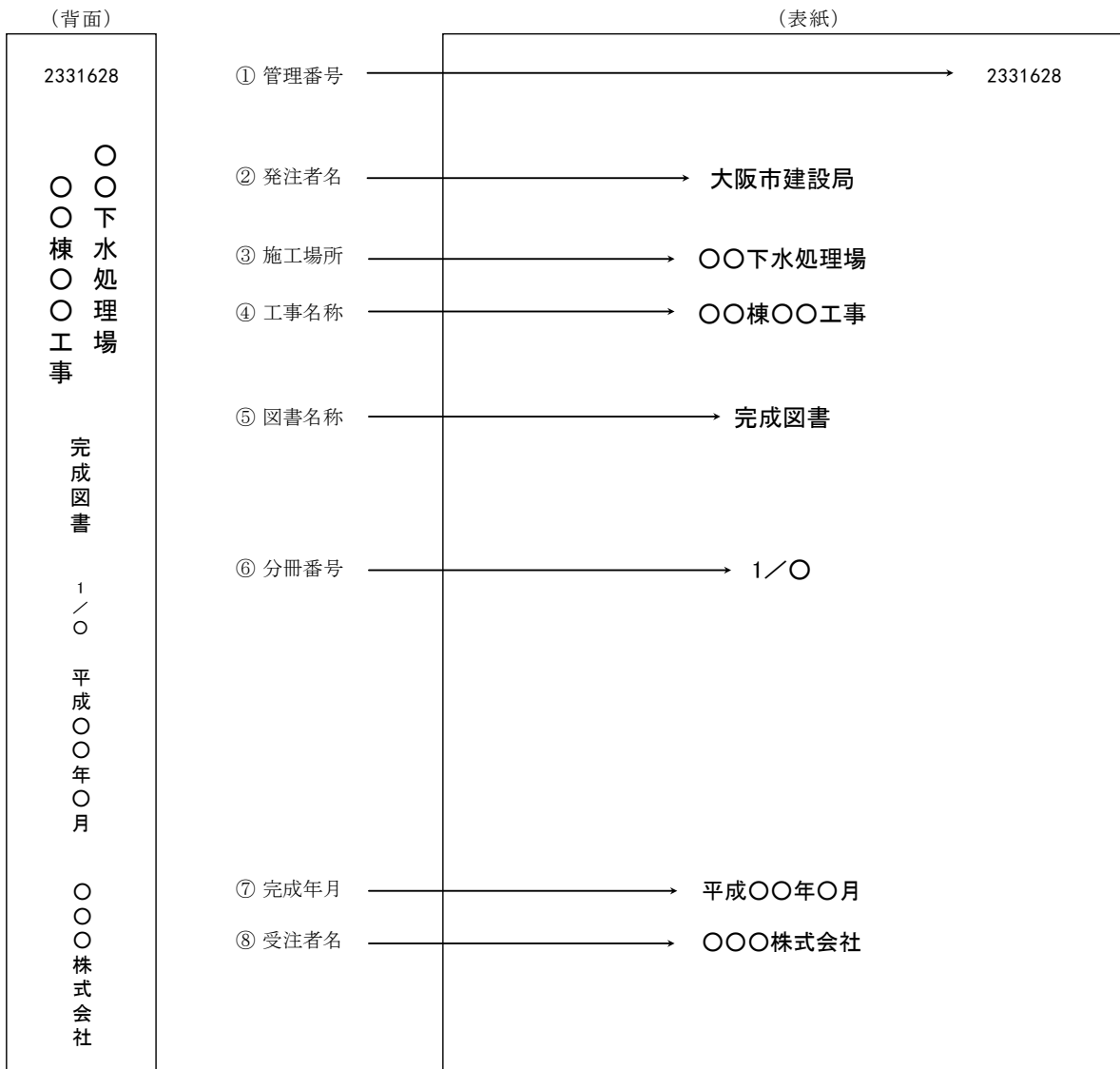
[記載例:〇〇下水処理場、〇〇抽水所]

- ④ 工事名称

工事名称を記載する。（ただし施工場所は除く）

[記載例 〇〇棟〇〇工事]

- ⑤ 図書名称
「完成図書」と記載する。
- ⑥ 分冊番号
分冊番号を記載する。(1冊の場合は除く)
[記載例 :1/2、2/2]
- ⑦ 完成年月
完成年月を記載する。(日は記載しない)
[記載例 :平成〇年〇月]
- ⑧ 受注者名
受注者名を記載する。



(図 4-4) 完成図書の記載項目

(3) 完成図書の詳細については、(図 4-4) 完成図書の記載項目を参照すること。

5 完成図書などの提出部数

完成図書などの提出部数は次表（表 4-1）のとおりとする。

（表 4-1）完成図書などの提出部数

提出資料	部数	備考
電子納品媒体（CD-R など）	2 部	完成図書の電子データ
完成図書（製本）	2 部	電子データの出力製本